

# 「ふるさと」への思い強く 活気あるまち目指して

「ふるさと住民票」ふるさと交流会



まちへの思いと親睦を深める

町では、まちにゆかりのある人に町の情報を提供し、つながりを深めてもらうため、今年から「ふるさと住民票」制度を行っています。11月20日には、制度開始から1年を迎えるのを前に、ふるさと住民票登録者と町関係者との交流会を開きました。当日は、住民票登録者10人が来町し、同日開催の、生きいき「ひのふ

れあいまつりや新そばまつりなどに参加。また、金持神社やオシドリ観察など、町内めぐりも行い、ふるさとの懐かしい情景を楽しみました。町交流センター・リバーサイドひので行われた交流会では、ふるさと住民票登録者が100人を突破したことを記念し、100人目となる指画家の濱田珠鳳さん（根雨出身・米子市在住）へふるさと住民票を交付するセレモニーを行いました。濱田さんは、3歳から20歳まで日野町で育ち、いろいろな経験をしたことが今の



100番目となる交付カードを受け取る濱田さん（左）

私の出発点。心の奥深くにある、ふるさとを思う気持ちをいつまでも大切にしたい」と喜びを語りました。また、参加者が自己紹介をしながら、それぞれの日野町の思い出話を花を咲かせました。松田奈穂子さん（黒坂出身・米子市在住）は、「住民票登録のきっかけは、日野町の自然が大好きだったから」と話し、「子どもとたびたび日野川に来て川遊びをさせるなど、自然を生かし元気に育てています。こうした機会を利用して少しでも日野町に貢献していきたい」と笑顔で語りました。色あせることのない思い出。それぞれがふるさとへの思いをより強くした一日となりました。

また、参加者が自己紹介をしながら、それぞれの日野町の思い出話を花を咲かせました。松田奈穂子さん（黒坂出身・米子市在住）は、「住民票登録のきっかけは、日野町の自然が大好きだったから」と話し、「子どもとたびたび日野川に来て川遊びをさせるなど、自然を生かし元気に育てています。こうした機会を利用して少しでも日野町に貢献していきたい」と笑顔で語りました。

## 帰省・同窓会の際に 「ふるさと住民票」のPRを！

お友達・ご親戚に紹介ください！



PR用チラシ・登録申込書をご利用ください

町では、まちにゆかりのある、町外在住の皆さんにまちの情報や各種サービスを提供し、まちづくりに参加いただくことにより、まちとのつながりをより深める「ふるさと住民票」制度を創設しました。より多くの皆さんに制度を利用いただくため、PR用チラシ・登録申込書を発行しています。多くの日野町出身者が集まる機会に配布したいと思っておりますので、**帰省や同窓会などの予定がありましたら、役場企画政策課までご連絡ください。**必要部数を準備いたします。まちにゆかりある皆さんとのまちづくりにご協力をお願いします。

【登録申込み・連絡先】 役場企画政策課（電話 72-0332、FAX72-1484）

Email : kikaku@town.hino.tottori.jp

日野町ウェブサイト・ふるさと住民票のページ

【<http://www.town.hino.tottori.jp/2585.htm>】

チラシ裏面は登録申込書になっています



# 地域のスポーツ振興に尽力

## 松本豊文さんがスポーツ推進員功労者表彰を受賞



受賞を喜ぶ松本さん（中央）

11月17日と18日に、福井県で開催された第57回全国スポーツ推進員研究協議会で、全国スポーツ推進員連合表彰が行われ、松本豊文さん（門谷）が、スポーツ推進員功労者表彰を受賞しました。

これは、スポーツ推進員として地域のスポーツ振興に功績のあった人に贈られるものです。松本さんは長年にわたり地域のスポーツ行事などに積極的に参加し、さまざまなスポーツの振興に携わってきました。松本さんは「地域のために引き続き尽力していきたい」と抱負を語りました。

# みんなで住みよい地域づくり

## 金持自治会が清掃活動



空き缶などたくさんのゴミを拾いました

10月16日、金持自治会住民が、地域の清掃活動を行いました。この清掃活動は、国道や町道周辺のゴミなどを拾い、清潔で住みやすい地域にしようとする3回行っています。

当日は、金持地内で工事を行っていた、有限会社浜本組（江府町）の皆さんも清掃活動に参加。地域住民と一緒に気持ち良い汗を流しました。

また、同日の午後には、同自治会の金持長寿会の会員らが、金持神社の鳥居に取り付けるしめ縄づくりを行いました。完成したしめ縄は早速取り付けられ、参拝者を迎えていました。

# “感謝の気持ちを込めて” 長寿のお祝い

## 黒坂・菅福地区「手づくり」の敬老会



長寿を祝う舞に目を奪われる出席者

10月9日、黒坂小学校で、黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催の手づくりの敬老会が開かれました。

当日は、黒坂・菅福地区の75歳以上の高齢者64人が出席。長寿と健康を祝い、鳥取荒神神楽研究会による恵比須・大黒様の舞の披露や、カラオケ大会などが行われました。

また、長年地域を支えてもらった感謝の気持ちを込め弁当が振る舞われ、出席者は普段は会えない人との会話など、楽しいひとときを過ごしました。

# ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第41回

## 「まい」「まむない」

日野弁で「まい」とは、「おいしい」という意味です。「うまい」の「う」音の脱落でしょう。

一方、「おいしくない」は、「まむない」。語源ははっきりしませんが、同様に「うまみ無い」から「う」が脱落した「まむない」が変化したのかもかもしれません。

このように、言葉は時の流れと共にさまざまに変化するもの。方言のように、「辞書には載らない言葉」の面白さはここにもあります。

### 日野弁ピックアップ「ま」

まえる…（水を加えて）湯温を下げる。  
まかせ…状況/様子/やり方。 まくれる…転ぶ/転倒する。 まぐる…ビー玉。 まちあう…適合する/儲けになる。 まちどころ…心待ちにすること「帰省を一でいる。」 まちぶ…まち/農村部に対する町域ございぶ まぶる…塗りつける/まぶす。  
まめな…よく働く/元気な。 まん…運/げん/つき。 まんちゃら…いんちき/ごまかすこと。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会